

- 問1 藤原氏が政治を行う上で重要な地位となった「摂政」と「関白」の役割の違いについて、正しく説明しているものはどれですか。 (2016年 千葉県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|---|--|
| 1. 摂政は京都の朝廷内で貴族を監視し、関白は地方の国司を監督して税の徴収を直接管理した。 | 2. 摂政は主に儀式や宗教的な行事を取り仕切り、関白は軍事指揮官として全国の武士を統率した。 | 3. 摂政は天皇が幼少であったり女性であったりする場合に代わって政務を行い、関白は成人した天皇を補佐して政務を執り行った。 | 4. 摂政は天皇の父が引退した後に就く役職であり、関白は天皇の兄が就く役職であった。 |
|---|--|---|--|
- 問2 平安時代末期、平清盛が広島県の厳島神社を大規模に整備した背景には、海外との貿易を重視したことがあります。このとき清盛が航海の安全を祈願して行った貿易の名称と、社殿に採用された当時の貴族の住居様式として正しい組み合わせはどれか。 (2025年 東京都公立入試 類似)
- | | | | |
|---------------|---------------|---------------|---------------|
| 1. 日宋貿易 ・ 寝殿造 | 2. 日宋貿易 ・ 書院造 | 3. 日明貿易 ・ 書院造 | 4. 日明貿易 ・ 寝殿造 |
|---------------|---------------|---------------|---------------|
- 問3 国風文化の時期には、京都府宇治市の池のほとりに建てられ、左右対称の翼廊と屋根の上の鳳凰が特徴的な平等院鳳凰堂のような建築が見られるようになりました。このような文化が栄えた時期に成立した文学作品とその作者の組み合わせとして、適切なものはどれですか。 (2017年 長崎県公立入試 類似)
- | | | | |
|-----------------|------------------|-------------------|-----------------|
| 1. 清少納言 — 『方丈記』 | 2. 井原西鶴 — 『浮世草子』 | 3. 阿弥陀如来 — 『浄土真宗』 | 4. 紫式部 — 『源氏物語』 |
|-----------------|------------------|-------------------|-----------------|
- 問4 飛鳥時代から平安時代にかけての日本と中国の王朝との外交に関する出来事について、時期の古いものから順に正しく並んでいるものはどれですか。 (2015年 富山県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|---|---|
| 1. 最澄・空海の入唐 → 小野妹子の派遣 → 白村江の戦い → 遣唐使の停止 | 2. 小野妹子の派遣 → 最澄・空海の入唐 → 白村江の戦い → 遣唐使の停止 | 3. 小野妹子の派遣 → 白村江の戦い → 最澄・空海の入唐 → 遣唐使の停止 | 4. 白村江の戦い → 小野妹子の派遣 → 遣唐使の停止 → 最澄・空海の入唐 |
|---|---|---|---|
- 問5 8世紀末から9世紀初めにかけて、遣唐使とともに唐へ渡って仏教を学び、帰国後に比叡山を拠点として天台宗を広めた人物は誰ですか。 (2025年 岐阜県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------|-------|-------|-------|
| 1. 行基 | 2. 最澄 | 3. 鑑真 | 4. 空海 |
|-------|-------|-------|-------|
- 問6 9世紀初め、遣唐使とともに中国へ渡り、帰国後に日本の仏教に新しい動きをもたらした人物と、彼らが開いた宗派の組み合わせとして正しいものを選びなさい。 (2017年 山口県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------------------------|-------------------------|------------------------|------------------------|
| 1. 最澄が真言宗を広め、空海が天台宗を広めた | 2. 最澄が天台宗を広め、空海が真言宗を広めた | 3. 最澄が浄土宗を広め、空海が禅宗を広めた | 4. 最澄が禅宗を広め、空海が浄土宗を広めた |
|-------------------------|-------------------------|------------------------|------------------------|
- 問7 平清盛が行った、自身の政治的・経済的な力を強めるための政策として、最も適切な説明はどれですか。 (2015年 長野県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|---|--|
| 1. 独自の法典である御成敗式目を制定し、武士同士の領地争いを裁く基準を明確にした。 | 2. 自分の娘を天皇のきさきとし、その間に生まれた子を天皇に即位させることで、天皇の親戚として権力を強めた。 | 3. 全国に守護と地頭を設置することで、地方の武士や土地に対する支配力を強化した。 | 4. キリスト教の布教を認める代わりに、南蛮貿易を独占してヨーロッパの最新技術を取り入れた。 |
|--|--|---|--|
- 問8 日本の歴史における都の変遷について述べた文章のうち、正しいものはどれか。なお、現在の奈良市周辺を「地点A」、現在の京都市周辺を「地点B」とする。 (2018年 沖縄県公立入試 類似)
- | | | | |
|-----------------------------------|-------------------------------|-------------------------------|----------------------------------|
| 1. 聖武天皇は地点Bに平城京を造り、仏教による国づくりを進めた。 | 2. 推古天皇は地点Aに平城京を造り、冠位十二階を定めた。 | 3. 桓武天皇は地点Bに平安京を造り、新たな時代を始めた。 | 4. 桓武天皇は地点Aに平安京を造り、律令政治の再興を目指した。 |
|-----------------------------------|-------------------------------|-------------------------------|----------------------------------|
- 問9 平安時代に、漢字を書き崩したり、その一部をとったりすることで工夫され、日本語の発音を書き表しやすくするために作られた文字を何といいますか。 (2023年 群馬県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|---------|---------|------------|
| 1. 万葉仮名 | 2. かな文字 | 3. ハングル | 4. アルファベット |
|---------|---------|---------|------------|
- 問10 平安時代中期、藤原道長・頼通の親子が約50年間にわたって実権握った「摂関政治」の仕組みについて説明した文として、最も適切なものを次のの中から選びなさい。 (2022年 愛媛県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|--|--|
| 1. 地方の武士団を組織して軍事力を背景に朝廷を圧倒し、六波羅探題などの機関を置いて政治の主導権を握った。 | 2. 唐の制度にならって律令を整備し、公地公民の原則に基づき、班田収授法によって全国の土地と人民を直接支配した。 | 3. 天皇が位を退いて上皇となった後、院庁という役所を開いて、天皇に代わって直接政治を行う体制を整えた。 | 4. 自分の娘を天皇の后（きさき）とし、その間に生まれた子を次の天皇に立てることで、天皇の外祖父（母方の祖父）として勢力をふるった。 |
|---|--|--|--|
- 問11 「この世をば わが世とぞ思う 望月の 欠けたることも なしと思えば」という歌を詠み、摂関政治の全盛期を築いた人物は藤原道長です。その子である藤原頼通が、父の別荘を寺院に改め、京都の宇治に建立した建築物の名称として正しいものを選びなさい。 (2024年 千葉県公立入試 類似)
- | | | | |
|----------|---------|-----------|-----------|
| 1. 中尊寺金堂 | 2. 厳島神社 | 3. 東大寺大仏殿 | 4. 平等院鳳凰堂 |
|----------|---------|-----------|-----------|
- 問12 平安時代に『枕草子』のような優れた女性文学が登場した背景には、文字の普及が深く関わっています。漢字を簡略化して作られ、女性が自分の感情や日常生活の出来事をきめ細やかに表現することを可能にした文字として、最も適切なものはどれですか。 (2025年 鹿児島県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|---------|--------------|-------|
| 1. カタカナ | 2. 甲骨文字 | 3. かな文字（平仮名） | 4. 漢字 |
|---------|---------|--------------|-------|
- 問13 瀬戸内海の海上に位置し、平氏一族が日宋貿易の安全を祈願して厚く信仰したことで知られ、その航路上の重要拠点として大規模な社殿が整備された神社はどれか。 (2026年 愛知県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|---------|---------|---------|
| 1. 出雲大社 | 2. 宇佐神宮 | 3. 鹿島神宮 | 4. 厳島神社 |
|---------|---------|---------|---------|
- 問14 平安時代末期、平清盛が現在の神戸市にある大輪田泊を大規模に修築し、瀬戸内海の航路を整備した目的として、最も適切な説明はどれですか。 (2019年 岡山県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------------------------------------|--|---------------------------------------|---------------------------------------|
| 1. 中国の宋との貿易を盛んにし、その経済力を背景に政治の実権を握るため | 2. モンゴル帝国（元）による襲来に備え、西日本の海岸線の防衛を強化するため | 3. キリスト教の宣教師を歓迎し、ヨーロッパの先進的な技術を取り入れるため | 4. 東北地方を本拠地とする奥州藤原氏との戦いに備え、軍船を停泊させるため |
|--------------------------------------|--|---------------------------------------|---------------------------------------|

答え合わせ・解説

問1	答え 3 摂政は天皇が幼少であったり女性であったりする場合に代わって政務を行い、関白は成人した天皇を補佐して政務を執り行った。	藤原氏は、天皇の成長段階に合わせて役職を使い分けました。天皇がまだ幼く、自身で判断ができない時期には「摂政」として代行し、天皇が成人してからも「関白」として常に天皇のそばで報告を受け、実質的な決定権を握り続けました。これらを合わせて「摂関」と呼びます。
問2	答え 1 日宋貿易 ・ 寝殿造	平清盛は、大輪田泊（現在の神戸市）の修築などを行い、中国の宋との間で行う「日宋貿易」を積極的に推進しました。厳島神社は瀬戸内海の航路上の要所に位置していたため、貿易の安全を祈願する対象として重要視されました。その際、当時の貴族の住居様式である「寝殿造」を社殿建築に取り入れたため、海上に浮かぶような華麗で独特な空間が形成されました。書院造は室町時代以降に発達した様式であり、日明貿易は足利義満の時代に始まったものであるため、時代背景が異なります。
問3	答え 4 紫式部 — 『源氏物語』	平安時代中期には、仮名文字が発達したことで女性による優れた文学作品が数多く生まれ、紫式部は貴族社会を描いた長編小説『源氏物語』を著しました。同じ時期、死後に極楽浄土へ生まれ変わることを願う浄土教の信仰が広まり、その象徴として阿弥陀堂である平等院鳳凰堂が建立されました。
問4	答え 3 小野妹子の派遣 → 白村江の戦い → 最澄・空海の入唐 → 遣唐使の停止	7世紀初頭の飛鳥時代、聖徳太子によって小野妹子が遣隋使として中国の隋へ派遣されました。その後、663年には百済の再興を助けるために朝鮮半島へ出兵した白村江の戦いで唐・新羅の連合軍に敗北しました。平安時代に入ると、804年に最澄や空海が遣唐使とともに唐に渡り、新しい仏教を日本に伝えました。そして894年、菅原道真の提案により遣唐使が停止されることとなりました。
問5	答え 2 最澄	平安遷都を行った桓武天皇の支持を受け、比叡山に延暦寺を建立して天台宗を開きました。同時期に活躍した空海は高野山を拠点に真言宗を、鑑真は奈良時代に戒律を伝えた人物、行基は民衆への布教と大仏造営への協力で知られる人物です。これらを混同しないよう区別する必要があります。
問6	答え 2 最澄が天台宗を広め、空海が真言宗を広めた	平安時代初期、最澄は比叡山に延暦寺を建てて天台宗を、空海は高野山に金剛峯寺を建てて真言宗を伝えました。これらは山の中での修行を重んじる密教的な特色を持ち、当時の貴族から強い支持を受けました。浄土宗は後の鎌倉時代に広まる宗派であり、混同しないように注意が必要です。
問7	答え 2 自分の娘を天皇のきさきとし、その間に生まれた子を天皇に即位させることで、天皇の親戚として権力を強めた。	平清盛は、かつての藤原氏が行った摂関政治と同じ手法を用いました。娘の徳子を高倉天皇のきさきにし、その子の安德天皇を即位させることで、天皇の祖父（外戚）として強い発言力を持ちました。また、並行して大輪田泊（現在の神戸市付近）を整備し、日宋貿易を推進して経済力も蓄えました。
問8	答え 3 桓武天皇は地点Bに平安京を造り、新たな時代を始めた。	地点A（奈良）には奈良時代の都である平城京がありましたが、桓武天皇は政治を刷新するために地点B（京都）へと都を移しました。これが平安京であり、以後約1100年にわたって日本の政治・文化の中心地となりました。
問9	答え 2 かな文字	平安時代には、それまで使われていた漢字を簡略化したり、一部を利用したりすることで、日本語の音を自由に表現できる文字が考案されました。これにより、日本独自の感情や情景を表現する国風文化が大きく発展しました。
問10	答え 4 自分の娘を天皇の後（きさき）とし、その間に生まれた子を次の天皇に立てることで、天皇の外祖父（母方の祖父）として勢力をふるった。	摂関政治は、藤原氏が天皇の「外戚（母方の親戚）」となることで権力を維持した政治形態です。道長などは娘を天皇に嫁がせ、生まれた皇子を天皇に即位させることで、その幼少期に摂政として、成人後には関白として実権を握り続けました。選択肢にある上皇が政治を行うのは「院政」、武家による支配は「武家政治」であり、摂関政治の特徴とは異なります。
問11	答え 4 平等院鳳凰堂	摂関政治の全盛期を築いた藤原道長の息子である頼通は、父から譲り受けた宇治の別荘を寺院に改めました。これが平等院鳳凰堂です。当時は末法思想の影響で、死後に阿弥陀仏によって極楽浄土へ導かれることを願う浄土信仰（浄土教）が貴族の間で流行しており、この建物はその極楽浄土の姿を地上に再現しようとして造られました。
問12	答え 3 かな文字（平仮名）	遣唐使の廃止などをきっかけに、日本独自の国風文化が発達しました。その中で、漢字を崩して作られた「かな文字（平仮名）」が普及したことにより、それまで公的な文書で使われていた漢字に比べて、個人の心情や繊細な情景描写を自由に行えるようになりました。この文字の成立が、清少納言による『枕草子』などの優れた文学作品が女性の手によって生まれる大きな要因となりました。
問13	答え 4 厳島神社	広島県の宮島に位置する厳島神社は、平氏一族の守り神として崇敬されました。平清盛は日宋貿易の航路整備の一環として、この神社の社殿を現在のような海上に浮かぶ美しい姿に整えました。これにより、瀬戸内海の海上交通の安全を祈るとともに、一族の権威を周辺の武士や貴族に示しました。
問14	答え 1 中国の宋との貿易を盛んにし、その経済力を背景に政治の実権を握るため	平清盛は、それまでの貴族が土地の所有（荘園）によって富を得ていたのに対し、海外貿易による利益に注目しました。大型船が寄港できるように大輪田泊を整備し、日宋貿易を積極的に推進することで、大量の宋銭や高級品を輸入しました。この経済力を背景に、平氏は「平氏にあらざれば人にあらず」と言われるほどの権勢を誇ることとなりました。